

様式第4号（第6条関係）

令和2年8月20日

富士見市議会議長 篠田 剛 様

会派名 草の根  
代表 今成 優太

### 行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

#### 記

- 1 期 間 令和2年8月13日（木）
- 2 参加者名 加賀 奈々恵
- 3 場所（行政視察地・研修場所）  
Zoom Cloud Meetings（自宅でのオンライン会議）
- 4 調査・研修概要  
WOMAN SHIFT 全国勉強会  
講師 新潟県加茂市 藤田明美市長、東京都武蔵野市 松下玲子市長

#### 講座1 「女性首長から学ぶ執行部との付き合い方」

両首長より、家庭と議員活動の両立について話があった。

両首長とも、地方議員を経験してから首長に当選されており、議員活動を経験していた。

「女性の社会進出は女性が頑張ることだけではなく、男性が家事により参画できれば、自ずと実現できる」という旨の話であった。

また、コロナ禍における対応について話があった。

首長だと議員の時とは違い、最終的な決定権があるのは自分になるため、慎重に判断する必要があったとのこと。

また、首長から見た優秀な議員像とは、の質問に対しては「現場の生の声を知っていること」「法律の根拠に基づいて問いただしていること」の2つの要素が欠かせないとのことであった。

執行部との付き合い方においても同様で、常に現場の声を知り、法律の根拠に基づいて指示をすることが重要とのことだった。

## 講座2 ワークショップ「政策実現をするためのコツ」

ワークショップでは全国の議員がそれぞれ自らの活動の中から、政策実現をするためのコツについて話し合った。

それぞれ有効であった活動をシェアする中で、「課題の当事者の声をきく」「議会内において他会派との調整をする」「執行部とも密にコミュニケーションを取る」という3点を同時に行うことで政策が実現する可能性が高くなるということが分かった。

特に、当事者の声を知るために積極的に現場へ出向いていくことが必要である。

一方で、政策が実現できても、それについて市民への発信を怠ってしまうと仕事をしていないことと同義となってしまうため、駅でのチラシ配布やポスティング、議会報告会などの活動も必要不可欠であるとの話になった。

ただ、現在はコロナ禍のためどこまで対面で情報を伝えるのが難しく、今後はネットを使ったツールの充実についても検討していく必要があるとの見解で一致した。

## 5 感想及びまとめ

「女性首長から学ぶ執行部との付き合い方」では、両首長とも地方議員を経験されていることから、普段の広報活動のやり方など実践的な政治活動について話を聞くことができて大変有意義であった。

また、ワークショップでは、全国各地の議員の体験を知ることができた。議会内だけで頑張るのではなく、議会、執行部、市民のヒアリング、それぞれ3つの角度から議員活動に取り組むことで自分が取り組む政策の実現に近づく

と思った。

今回の講座を活かして、より一層充実した議員活動に励んでいきたい。

\*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管